

太陽光発電における低圧パワーコンディショナーの 力率一定制御（力率 95%）の採用について

近年、低圧配電線に逆潮流有りで連系する発電設備の増加により、配電系統の電圧上昇が懸念されております。この対策として、低圧パワーコンディショナー（以下、低圧PCS）の力率一定制御（力率 95%）を標準的に採用することが系統連系規程（JEAC9701-2016 2017年追補版その1）に規定されました。

それに従い、太陽光発電設備を低圧配電線へ連系し逆潮流が生じる場合、系統連系規程に則り、低圧PCSの力率一定制御（力率 95%）の設定をお願いいたします。

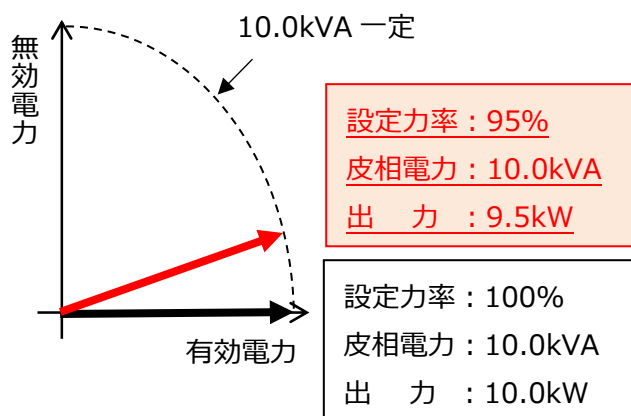
なお、ご設定いただいた力率や皮相電力（kVA）および出力（kW）については、「低圧太陽光発電設備技術検討用資料」に記載し、お申込みください。

適正な電圧を維持するため、「太陽光発電設備における低圧パワーコンディショナーの力率一定制御（力率 95%）の採用について」のお願いに関しまして、何卒ご理解とご協力いただきますようお願い申し上げます。

力率一定制御機能を有する低圧PCSは、下記例のような機能が採用されております。

（機種により機能は異なるため、詳細はPCSメーカーさまへご確認ください。）

皮相電力一定制御の例



有効電力一定制御の例

